

# 2021年3月ご退職 埋橋玲子先生について

保育士養成課程開設当時の学科主任

今井 敏博

2012年4月に、現代社会学部 現代こども学科に保育士養成課程が設置されました。2008年4月の幼稚園教諭一種免許課程の設置の続く変革です。準備を含めて着任されていました埋橋玲子先生により、保育士養成課程の1期生(新入生)への説明が始まりました。この課程の所属学生は初年次に定めなければならず、1年次の春学期に履修説明や選考がなされました。保育士養成課程の実習時期はすでにある小学校教諭免許課程や幼稚園教諭免許課程の時期と異なるため、埋橋先生の企画案を学科打合せ会で調整・確認し、学科の取り組みとして実施していきましました。埋橋先生は、保育士養成課程の責任者として4年間を見通して起案され、最初の卒業生が出るころには一応軌道に乗ってきたように思います。

それらと並行して、先生の翻訳書『保育環境評価スケール(1)幼児版』(法律文化社)、『保育環境スケール(2)乳児版』(法律文化社)をもとに、保育環境スケールの保育現場への活用に関する研究を進められました。また、海外の保育事情にも関心をもたれ、現代社会学会発行の『現代社会フォーラム』において、2015年第11号では「イングランドの保育従事者の資格(YET, EYE/Level 3)について」、2017年第13号では、「シンガポールの幼児教育・保育(2) — 質の認証システム SPARK に注目して —」を論文として公表されています。

奈良女子大学大学院文学研究科修士課程を修了し文学修士を取得され、大阪市立大学大学院生活科学研究科で博士(学術)を取得されています。また、一方で幼稚園の勤務経験もお持ちです。

実践現場での経験、大学教員での経験をもとに、2021年3月の本学ご退職後は、2021年4月から大阪総合保育大学の特任教授に着任され、学部生教育だけでなく現職大学院生の研究指導や保育環境評価スケール研究会の運営など、保育実践現場に直結した活動を進められています。今後のご活躍をお祈りしたく思います。

